


# MICHIKO OGAWA | BALLUCHON

小川理子 | バルーション  UA-1002

12 SONGS FOR  
MUSIC AND SOUND TRAVELERS

## “SIDE A”

- 01 **Oh Lady Be Good** オー・レディ・ビー・グッド 03'20"  
(George Gershwin)
- 02 **Love For Sale** ラブ・フォー・セール 05'35"  
(Cole Porter)
- 03 **In A Sentimental Mood** イン・ア・センチメンタル・ムード 04'29"  
(Duke Ellington)
- 04 **Do Nothing Till You Hear From Me** ドゥ・ナッシング・ティル・ユー・ヒア・フロム・ミー 03'43"  
(Duke Ellington & Bob Russel)
- 05 **I Got Rhythm** アイ・ガット・リズム 04'54"  
(George Gershwin)
- 06 **But Not For Me** バット・ノット・フォー・ミー 02'49"  
(George Gershwin)

Michiko Ogawa – Piano, Vocal  
Bison Katayama – Drums  
Ryuichi Yamamura – Bass  
Mitsukuni Tanabe – Guitar

“SIDE A” Produced by Reiji Asakura

## “SIDE B”

- 07 **Take The “A” Train** A列車で行こう 05'27"  
(Billy Strayhorn)
- 08 **C Jam Blues** C・ジャム・ブルース 05'48"  
(Duke Ellington)
- 09 **Smile** スマイル 04'00"  
(Charles Chaplin, Geoffrey Parsons & John Turner)
- 10 **Perdido** パーデイド 04'05"  
(Juan Tizol)
- 11 **Nobody Knows The Trouble I’ve Seen** 誰も知らない私の悩み 03'41"  
(Traditional)
- 12 **Lady Madonna** レディ・マドンナ 03'13"  
(John Lennon & Paul McCartney)

Michiko Ogawa – Piano, Vocal  
Wataru Hamasaki – Sax, Flute  
Kunpei Nakabayashi – Bass  
Sota Kira – Drums

“SIDE B” Produced by Haruo Ushio

本作は制作上の意図により、1～6曲目を“SIDE A”、7～12曲目を“SIDE B”  
としております。各サイドのテイストの違いをお楽しみください。

小川理子とは、これまではもっぱら取材者と取材対象者という間柄だった。米ラスベガスのCES、ドイツ・ベルリンでのIFAという世界の家電ショーのタイミングで、テクニクス事業の最新動向を直接、小川に訊くのが通例になっているが、その場では自らのジャズミュージックの話はまったく出ずに、もっぱら製品、技術の話に終止していた。

私が小川の演奏に接したのは、二回。2014年のIFAで、テクニクスが再度デビューしたことを祝う記念式典でのステージと2016年のドイツのピアニスト、アリス=紗良・オットのブランド・アンバサダー就任記念コンベンションである。

ウルトラアートレコード合同会社を設立し、第一作の情家みえ『エトレーヌ』に続く作品を考えた時、小川理子の名前が浮かんだのは、自然なことだった。特に着目したのが、経営と音楽の両立をなしていることだ。今、小川はパナソニック執行役員、アプライアンス社副社長・技術本部長の要職にあり、日本オーディオ協会の会長も務めている。

であるのと同時に、盤石のテクニクとソルフルなマインドを持つ経験豊かなジャズ・ピアニストなのである。かつて、バリトン歌手の大賀典雄が、ソニーの社長を務めながら会社経営と音楽家活動を両立させていた。そんな例が現代に存在することだけでも奇跡的なことだ。

小川の明晰なタッチ、透明度が高く混濁しないコード(和音)弾き、鋭角的な音輪郭という音楽的特徴を最大限に活かす楽曲として、A面は周年記

念にあたるジョージ・ガーシュウィンとデューク・エリントン、そしてコール・ポーター作品を選択した。

制作方針は『エトレーヌ』同様、手直し編集なしの「ワンテイク録音」、生成りの素直な音を得るためコンプレッションを使わない一だ。今回は世界最高のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)と称されるピラミックスにて、384kHzサンプリング32ビットで録音した。オーディオ的用語を使うと「剛性が高く、盤石な安定感を聴かせる文字通りピラミッド型」のDAWだ。名匠、塩澤利安のピラミックス録音をぜひ堪能してほしい。

#### 「オー・レディ・ビー・グッド」

1924年末のミュージカル『LADY BE GOOD』のテーマ曲。ジョージ・ガーシュウィン作曲。兄のアイラ・ガーシュウィン作詞。ミュージカル名は『LADY BE GOOD』だが、曲名には「OH」が付いた。小川理子は抒情的なタッチの前奏から一転してアップテンポに進め、ゴキゲンなスウィングを展開。ピアノをはじめ、ギター、ベース、ドラムも快活なリズムを聴かせる。ギターのセクシーさに注目。

#### 「ラブ・フォー・セール」

コール・ポーター作詞・作曲によるスタンダード・ナンバー。1930年のブロードウェイミュージカル『THE NEW YORKERS』で歌われた。「愛の売り物」との意味で、売春婦の販売促進がテーマ。勧誘文句が連続するため当時は放送禁止となり、

それが逆に注目を集めて大ヒットした。本演奏ではアクセントがくっきりとしたゴージャスなピアノ、クリアなコードワーク、ドラムの躍動、ギターの立ち、ベースの色気……が聴きどころだ。

#### 「イン・ア・センチメンタル・ムード」

デューク・エリントンが1935年に作曲。物憂げなメロディがスタンダードとして長く愛されている。ソニー・ロリンズ&モダン・ジャズ・クアルテット、ビル・エヴァンス、エラ・フィッツジェラルド、サラ・ヴォーンなどが名盤を残している。本演奏は、音楽的表情的の豊かさ、タッチの明晰さ、ベースのスケールの大きさ、ソロギターの官能性……が聴きどころだ。

#### 「ドウ・ナッシング・テル・ユー・ヒア・フロム・ミー」

オリジナルは、1939年にデューク・エリントンがトランベッターのクーティ・ウィリアムスのために作曲した「CONCERTO FOR COOTIE」という器楽曲。1943年にボブ・ラッセルによって歌詞がつけられた。「一度や二度はキスくらいしたことがあるし、抱き合ったこともあるけど、噂を信じちゃだめよ。私から直接聞くまでは信じないでね」と、小悪魔的な歌詞がコケティッシュに歌われる。

#### 「アイ・ガット・リズム」

1930年、ジョージ・ガーシュウィン作曲のスタンダード・ナンバー。作詞はアイラ・ガーシュウィン。ミュージカル『GIRL CRAZY』挿入歌として制作。ミュ

ージカル映画『巴里のアメリカ人』では、主役のジーン・ケリーがパリの子供達と歌った。重量級のクルマを軽々とドライブするような強烈駆動力のピアノリズムが聴き物。文字通りリズムが躍動している。

#### 「バット・ノット・フォー・ミー」

ジョージ・ガーシュウィンが作曲し、アイラ・ガーシュウィンが作詞した失恋ソング。1930年、ミュージカル『GIRL CRAZY』のために書かれた。「They're writing songs of love, but not for me〜人々は恋の歌を作るが、それは私のためではない」という切ない歌詞だ。小川にはソロで弾いてもらった。一音一音にアクセントを持つ和音の重奏感、快適なスウィング感、低音の盤石感と高音の絢爛さとの絡みを聴いてほしい。



UA-1002

MICHIKO OGAWA | BALUCHON



©2018 Ultra Art Record/UA-1002/生産量2,778+税 [18-10-11] ①19.3.10まで STEREO R-1890221MT  
このCDは一定期間音質保証商品ですが、この期間後も権利者の許諾なく、賞賛集に使用すること、個人的な感嘆を超える使用目的で複製すること、また、ネットワーキング等を通じてこのCDに録音された音を送信できる状態にすること、著作権法で禁じられています。

Ultra Art Record



UA-1002

小川理子「ブルーミング」モン

“Side A”

- 01 Oh Lady Be Good
- 02 Love For Sale
- 03 In A Sentimental Mood
- 04 Do Nothing Till You Hear From Me
- 05 I Got Rhythm
- 06 But Not For Me

Produced By Reiji Asakura

“Side B”

- Take The “A” Train 07
- C Jam Blues 08
- Smile 09
- Perdido 10
- Nobody Knows The Trouble I’ve Seen 11
- Lady Madonna 12

Produced By Haruo Ushio

Ultra Art Record